

令和3年12月7日

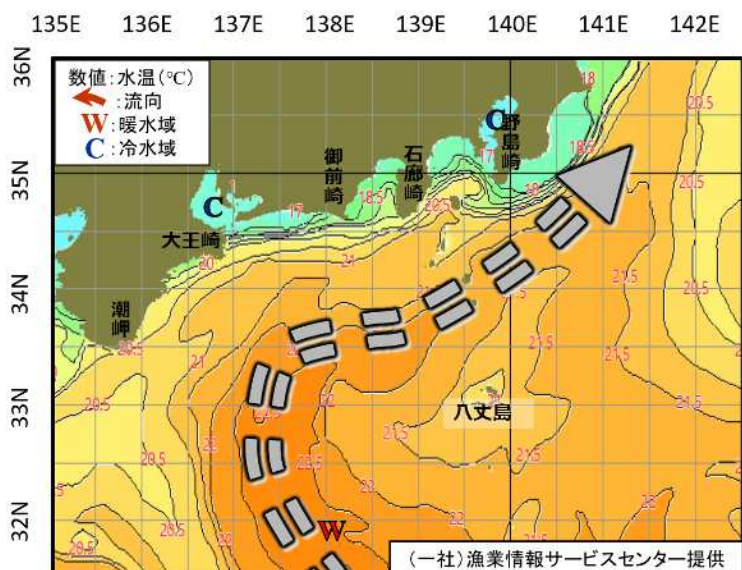
< 黒潮流路 >

12月7日の人工衛星画像によると、黒潮は大王崎沖の北緯29度付近まで南下した後、八丈島の西側を北上し、その後房総半島沖へ流れています。現在の流路は、流軸が御前崎沖の北緯33度以北を通過するAs型となっています。

< 渥美外海の状況 >

現在、黒潮が遠州灘へ接近しているため、沖合は高温傾向となっていますが、沿岸部は17度前後の沿岸水に覆われています。流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡（名瀬－西之表）の潮位差は低い水準で推移しており、流路の大きな変化はないと思われますが、FRA-ROMSの海況予測では、今後、黒潮の流路はS字状がやや強まり、典型的なAs型となる予測となっています。

12月7日の水温分布と黒潮流路（詳細図）



12月7日の水温分布と黒潮流路（広域図）

